

岡山県代協

# 社労士会と連携協定締結

## 会員、取引先企業の労働環境整備で協力

岡山県代協(歳森宏会長)と岡山県社会保険労務士会(双田直会長)は1月26日、ピュアリティまきび(岡山市)で相互連携に関する覚書を締結した。今回、連携協定を結んだことで、両者は社労士診断認証制度(注)の普及をはじめ、代協会員や取引先企業の労働環境整備などで協



社労士会にも所属する  
谷川岡山代協顧問

禁止事項などについて説明した。  
当日の講演はハイブリッド形式で行われ、会場に出席した会員とオンライン参加の会員など約50

人が聴講。今後、両者は連携事業の第一弾として、2月中旬に開催される岡山県代協「献血大会」に岡山県社労士会も参加する予定だ。

(注) 全国社会保険労務士会連合会が労務コンプライアンスや働き方改革に取り組む企業を支援する目的で2020年4月に始めた制度。労働社会保険諸法令の順守や職場環境の改善に積極的に取り組む、企業経営の健全化を進める企業を社労士が診断し、認証マークを発行する。



締結式の様子。左から歳森氏、双田氏

締結式に際し、岡山県代協顧問で日本代協理事の谷川明義氏が覚書締結に至った経緯を説明。谷川氏によれば、日本代協が昨年5月、全国社労士

は労働環境整備のために意義がある。また、本日の締結式には他県の社労士会長および代協会長もウェブで視聴されており、岡山県の連携が全国に広がっていくことを期待している」と述べた。覚書の内容は①「社労

士診断認証制度」の普及②労務管理に関する総合的な支援・アドバイス③青少年の健全育成、社会貢献④両会の資質向上の4項目。今回の締結で代協と社労士会相互の関係性が高まり、代協とし

ては会員代理店や取引先企業の労働環境整備や業務基盤確立に向けた支援に生かしていく。締結式では日本代協の金子智明会長と全国社労士会連合会の大野実会長の祝辞も披露。また、式後には、岡山県社会保険

## 社労士診断認証制度など4項目で合意

会連合会との間で社労士診断認証制度の活用に関する覚書を締結、各地の代協と地元社労士会との連携に向けた支援を決めたことから、岡山県代協として全国に先駆けて社労士会との協定締結に至

どしている。今後はこの連携を基本にさらに消費者のために尽力していきたい」とあいさつした。続いて、岡山県社労士会の双田直会長は「『社労士診断認証制度』が普及していくこと

士診断認証制度」の普及②労務管理に関する総合的な支援・アドバイス③青少年の健全育成、社会貢献④両会の資質向上の4項目。今回の締結で代協と社労士会相互の関

業」宣言のポイントについて記念講演を行い、制度の概要や宣言・認証の目的、就業規則など確認項目のポイント、社労士との契約、社労士法上の